

「二高白神プロジェクト」 第1回招へい講座

平成30年6月8日（金）の総合的な学習の時間に「二高白神プロジェクト 第1回招へい講座」を実施いたしました。

本校では総合的な学習の時間を中心に、世界自然遺産「白神山地」の魅力を伝えることのできる生徒を育成する「二高白神プロジェクト」に取り組んでいます。

その一環として、専門的な研究を行っている大学の教員や白神山地に関わる有識者から白神山地に関する内容の講義をいただき、生徒の知的好奇心を喚起し白神山地への知識を深めることを目的に招へい講座を実施しています。

講師 加藤写真事務所 カメラマン 加藤隆悦 氏
演題 「一人ひとりがメッセンジャー」



講師の紹介



講師の加藤隆悦先生

講師の加藤先生は写真撮影時の基礎を熱く語ってくれました。ISO（撮影感度）、WB（ホワイトバランス）、露出（シャッタースピード、しぼり）、フォーカス（ピント）の基礎知識のほか、ただ撮るだけではなくセオリーやセンス、工夫も必要だそうです。

また、数枚の写真を見せながら「上手い写真なのか」、「下手な写真なのか」を生徒に考えさせた後、丁寧に説明をしていただきました。写真の中には先生に言われるまで写真の風景が斜めになっていることに全く気がつかないものもありました。なんとなく描かれた絵でも計算されて描かれていることや、写真を撮る際の構図を意識することが大切だということでした。

その構図を意識する際、日の丸構図にならないようにSN比（黄金比）を考えて工夫することが上手い写真を撮るためには大切なことだとアドバイスをいただきました。そして構図には「三角構図」「対角構図」「対象構図」「曲線構図」があるそうです。



パワーポイントを使って説明



加藤先生に質問をする生徒

今回の講演のテーマは「白神山地の魅力を写真をとおして伝えること」です。生徒たちは先生の話のうちが、**「教えてもらったことを生かして写真を撮ってみたい。」**「自然や風景などを撮るときはバランスや雰囲気がとても大事だということがあらためてわかったので、白神フィールドワークの時に、今回の写真の撮り方をしてみようと思います。」**「ぼかしなどのテクニックも使えるようにしたい。」**など様々な感想を持ったようです。

一人ひとりがメッセンジャーとして講座で学んだことを意識し**「絵になるシーンを見つけてあるいはイメージして」**いい写真をどんどん撮ってもらいたいと思います。



被写体の配置場所を説く加藤先生



生徒会執行部からお礼の言葉

最後に生徒代表として3年生の小林大輝君が感謝の気持ちを述べ、講演会は終了しました。

～～ 生徒の感想から 一部を紹介 ～～

白神山地についての説明は昨年も聞いていましたが、昨年よりももっと白神山地の魅力について知れたのでよかったです。写真撮影をするときは、感度やバランス、スピード、ぼかしなどの工夫をして撮ることが大切だと思いました。構図を意識して撮ると上手に撮れることもわかりました。絵になるシーンを見つけて絵になる撮り方をイメージして撮りたいです。白神山地に行ったら撮るときは、今日の話を意識して撮りたいです。

今回、お話しいただいたアドバイスやポイントを生かして写真を撮りたいと思いました。特に構図を考えて撮ることを意識して、自分がどんな写真を撮りたいのかを考えて撮りたいと思います。ぼかしの重要さも理解できたので、ぼかしなどのテクニックも使えるようにしたいです。写真を撮るのは6月下旬なので、夏らしいさわやかな写真を撮りたいと思います。今日は貴重なお話ありがとうございました。

白神山地や岳岱には何回か行ったことがあったけれど、雪の重みで曲ってしまった木などについて疑問を持ったことがなかったので、新しく知識を得られてよかったです。私も写真を撮ったりするのが好きで、いつもは空や星、月などを撮っています。今度、写真を撮るときは建物や自然の植物なども撮ってみたいです。

写真撮影を通して白神山地の魅力や素晴らしさを伝えるために、角度やぼかしなどのテクニックを使うと上手く生き生きした自然を写し出せることが今回の講座でわかりました。この講座で習ったことを生かして白神山地の良さを伝えていきたいです。